

**Press Release**

報道関係者各位

2019 年 12 月 13 日

株式会社シード

**“トリガーフィッシュ システム”の開発、製造及び販売元  
SENSIMED AG 社 経営権の取得について**

株式会社シード（本社：東京都文京区、代表取締役社長：浦壁 昌広、東証1部：7743）は、スイス連邦共和国ローザンヌにあるSENSIMED AG社（以下、「SENSIMED社」）の株式を、既存株主から譲渡を受け、本日現在90.6%の株式を取得いたしました。

記

SENSIMED 社は、スイス連邦工科大学ローザンヌ校を発祥としたベンチャー企業であり、眼圧の変化により誘発される角膜曲率の変動を測定し、眼圧変動におけるピークパターンを 24 時間にわたり検出する医療機器である「トリガーフィッシュ システム」（「トリガーフィッシュ センサー」ならびに「トリガーフィッシュ」）の開発、製造及び販売を行っております。当社は、2013 年より日本における承認取得を目指し、またアジアでの普及拡大機会を見据え、SENSIMED 社との協力関係を築き、2016 年に同社が発行する転換権付劣後ローンを CHF（スイスフラン）5.0 百万実行、2019 年 8 月に同ローンが株式転換されたため以降 12.55%の株主として事業拡大に協力して参りました。当社は、2018 年 9 月に日本における「トリガーフィッシュ システム」の承認取得、同年 12 月末より商業販売を開始し、これまで眼科専門病院・大学病院等へ着実に販売を重ねております。

2020 年 3 月期第 1 四半期決算において、SENSIMED 社が債務超過の状態にあり、追加増資が当期中に完了できなかったことから、当社は同ローン及び関係利息に対する貸倒引当金繰入を計上しております。また、2020 年 3 月期第 2 四半期において、転換した同社株式に対して減損処理を行っております。しかしながら当社としては、これらの会計処理は当社の財務会計上のバランスシートの健全性を確保する目的であり、「トリガーフィッシュ システム」自体の医療用コンタクトレンズとしての価値、将来性を損なうものとしては認識しておりません。同社の支配権を獲得することにより、「トリガーフィッシュ システム」の事業性を一層高められると判断いたしました。

今後の事業運営としては、製造工程において当社の英国子会社である UltraVision International Ltd. 社が積極的に関与することで、改善改良とコストダウンを強力に推し進めます。これにより、日本国内における「トリガーフィッシュ システム」の一層の普及に努める方針です。また、日本以外の市場においては、高齢化が急速に進みつつある中国・香港市場、その他のアジア市場は当社のネットワークを通じ販売活動を開始し、欧州市場についても販売を再活性化する予定です。これらにより、いわゆるスマートコンタクトレンズ分野において、当社の国際的な地位を確固たるものとし、今後の中長期的な成長を目指して参ります。

**【SENSIMED AG 社 概要】**

住所	Route de Chavannes 37, 1007 Lausanne, Switzerland (スイス)
代表者 (CEO)	David Bailey
Webサイト	<a href="https://www.sensimed.ch/">https://www.sensimed.ch/</a> (英語)

以上

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社シード 経営企画部社長室(広報担当) TEL 03-3813-1650

シード ホームページ <http://www.seed.co.jp>